

広
報

びらとり

12・1
2015 2016

一人ひとりがまちづくりの主役です 輝くびらとり未来につなごう



芳誠会創立30周年記念発表会 (11月22日)

特 平取町長の年頭のごあいさつ・2015年を振り返る ... 2

集 「バイオマス産業都市」選定・認証 ... 4

土砂災害警戒区域等の指定について ... 6 まちのひろば ... 7

教育委員会からのお知らせ ... 9 すこやかだより ... 14

図書館へ行こう ... 15



謹賀新年



新春お慶び申し上げます

めまぐるしく社会情勢が変化する中、昨年は不安定な国際情勢によって国内外でさまざまな事件が起こり、地方に住む私たちにおいても安全な生活が脅かされつつあると強く感じた1年でした。

そのような中、町民の皆様が安全で安心して暮らすことができる「まちづくり」を目指し、多くの施策や取り組みを行って参りました。

昨年（2023年）の情勢と町の動き

昨年は、町の将来を担う町政の指針「第6次平取町総合計画」の策定を柱として進めて参りました。この新しい計画は、平成25年から約3年をかけて検討と議論を重ね、皆様からも意見を頂きながら何度も練り直し、総合計画検討委員会より答申を頂くところまで取り進めて参りました。

また、昨年は農協が新たに「JAびらとり」としてより強固な経営基盤を築き、ブランドとして定着した「びらとりトマト」は、日々高品質なトマトの生産に努められている農家の方々や関係者の努力によって、大変良好な販売が維持されてきました。

さらに、軽種馬においては、春のGIレース第75回桜花賞において、清水牧場の生産馬「レッツゴードン

キ」号が優勝する快挙を成し遂げるなど、大変喜ばしい出来事もありました。

平取ダムは、順調に工事が進んでいます。災害に悩む流域住民が一日でも早く安心できるよう早期完成へ向けて要請を続けて参りました。

平成28年の町政と展望

本年は、新しい総合計画がスタートする年であり、産業や教育、福祉や医療などの対策とともに、施設の改築など大きな事業も進めながら、足腰の強い「まちづくり」に取り組んでいかなければと強い使命を感じているところです。

住みよい町を目指し、町民と議会、行政が一体となり、皆様のご期待に沿うよう、全力を尽くして参りますので、皆様のお力添えをお願い申し上げますとともに、本年が輝かしく良き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。

平取町長 川上 満

新春をお慶び申し上げます

町議会	議長	鈴木修二
	副議長	千葉良則
同	議員	松原俊幸
同	議員	丹野信一
同	議員	櫻井幹也
同	議員	中川嘉久
同	議員	藤澤佳宏
同	議員	高山修
同	議員	井澤敏郎
同	議員	四戸正彦
同	議員	松澤以久子
同	議員	貝澤真澄
	(議席順)	
代表監査員		山田和博
農業委員会	会長	宮入司
教育委員会	委員長	本間稔浩
選挙管理委員会	委員長	遠藤裕昭
公平委員長		佐々木孝
国保運営協議会	会長	千葉良則
民生児童委員協議会	会長	福原謙吉
副町長		泉澤敏裕
教育長		松本周次

2015 年を振り返る

1月

- 消防出初式（本町）
- 北海道消防操法訓練大会
優勝祝賀会



○ 成人式

- 冬休み子どもクッキング

2月

- 全道PKグランプリ
- 義経雪あかり
- 初午祭
- シンリムカアイヌ文化祭

3月

- 高齢者虐待防止を考える
町民の集い

4月

- レッツゴードンキ号
桜花賞（GI）制覇



○ 町議会議員選挙

5月

- 振内町民ラジオ体操100日
大会
- すずらん観賞会

6月

- 北海道日本ハムファイターズ
マスケットB・B来町
- 「コープさっぽろ」との間の
地域見守り協定

7月

- モンキーリバーランド
夏まつり
- オールドカーフェスタ

8月

- 幌尻まつり
- 義経神社例大祭
- チアサンケ
- ふれあい広場

9月

- 戦没者追悼式



- びらとり沙流川まつり
- 町民マラソン大会

10月

- 2015 国勢調査
- 全町老人の集い
- トマト・和牛フェア2015
- 中高生まちづくり議会



11月

- 秋の叙勲
- 山田喜代太氏旭日双光章授章
文化祭
- 芳誠会創立30周年記念発表会
- 町づくり住民大会

12月

- ボランティアの集い
- 第6次平取町総合計画答申

バイオマス産業都市に 選定・認証されました

11月16日、平取町が農林水産省および関係6府省（内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省）が共同で推進するバイオマス産業都市に選定され、農林水産大臣から認定証が授与されました。

バイオマス産業都市とは

木質、食品廃棄物、下水汚泥、家畜排泄物など、地域の豊富なバイオマスを活用した産業創出と地域循環型の再生可能エネルギーの強化を図り、地域の雇用創出や活性化につなげるため、原料の収集・運搬から、製造・利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、バイオマス産業を軸とした環境にやさ

の支援等が受けられる可能性が高まることとなります。

なぜ平取町はバイオマス産業都市をめざすのか

小規模自治体である当町は、継続可能なまちづくりを考えるうえで、地域内での経済循環、お金をいかにその地域で回すかというのが大きな課題となっています。積雪寒冷地の冬場のエネルギー消費は、その燃料費のほとんどが地域内では回らないもので、外に出て行ってしまうお金となっています。

推計では家庭用暖房や農業用暖房で消費する化石燃料（灯油やガソリンなど）の額は膨大なものになっています。これらを地域内で賄うことができれば、さらに雇用や産業の

創出につながるのでは、という考えから「エネルギーの地産地消」のシナリオとしてバイオマス産業都市をめざすことにしました。



認定証授与の様子（11/16 農林水産省）

平取町のバイオマス産業都市構想

平取町は面積の85%が森林といった条件からも他のバイオマスと比べ、木質バイオマス（間伐材、林地残材など）の利用が、最も有効であると考えました。

この構想では、木質バイオマスをより有効に活用可能となる熱等供給公社の設立を想定し、それに伴い今まで産業構造的に結びつくことのなかった当町の林業と農業の新たな産業構造の創出を図ることで、雇用が創出できる可能性を高めようと考えています。

木質バイオマスに関する主要プロジェクトとしては、次の4つのプロジェクトを柱としています。

① 農業ハウス用燃料の木質バイオマス化

基幹産業である農業、トマトの施設栽培などで消費する灯油等の一部を木質バイオマスに転換し、「びらとりトマト」のブランドをさらに高めるとともに、栽培のためのエネルギーの循環型の取り組みを構築します。

② 公共施設等へのバイオマス燃料焼給の率先導入

木質バイオマス燃料導入に当たっては一定の需用が町内に必要ことから、まず公共施設へ率先的に導入を図るための計画を推進します。公共施設も、総じて老朽化が進んでいることから、その耐震化工事、建て替えなどの機会に木質バイオマス燃料焼給の導入を検討することとしています。


② 公共施設への率先導入計画

- 公共施設の暖房の木質燃料化を検討。
- 改築予定の国保病院、役場（本庁舎）やオール電化により電力高騰に伴う経費増が問題化している中央公民館への導入を図る。



① 農業ハウス用燃料のバイオマス化

- トマトハウス用暖房を灯油から、チップ・ペレットなど木質系ボイラーへの転換。
- 熱供給会社による安価な熱源で負担軽減を図る。



③ 木の駅プロジェクトの概要

- 地域通貨や雇用創出と絡ませた「林地残材収集システム」のソフト事業。大規模なプラントがなくとも、販路のない間伐材、林地残材などを収集・搬出し、副業的な収入が生まれることでの、地域経済の循環を図る仕組みを構築し、運用していくことができる。

④ 太陽光発電設備の運用

- 地域の低炭素化や遊休土地の有効利用など、地方自治体が事業主体となり、FIT（固定価格買取制度）を活用した太陽光発電施設の運用を図る。



③ 木の駅プロジェクトの構築

全国で約30か所の地域で取り組まれている、地域通貨や雇用創出と絡ませた「林地残材収集システム」のソフト事業の展開を図ります。これは原料を収集するうえで、大規模なプラントがなくとも、販路のない間伐材、林地残材などを収集・搬出し、副業的な収入が生まれることでの、地域経済の循環を図る仕組みを構築し、運用していくことができる点が特徴となっています。

④ 太陽光発電施設の導入検討

FIT（固定価格買取制度）を活用した太陽光発電設備の導入は、北海道でも比較的積雪の少ない平取町では、十分に採算性が期待できることから、バイオマス事業推進の資金調達の手段として、また、地域防災機能の強化を図ることからも導入を検討したいと考えています。

バイオマス産業都市構想の目標

平取町のバイオマス構想の目標は、エネルギーの地産地消による地域内の経済の好循環をめざすことです。特に農業分野での再生可能エ

ネルギーの活用により、エネルギーも地域内循環で賄えることになれば、すでに全国の市場で高い評価を得ている「びらとりトマト」をはじめとする平取町の農産物の市場イメージがさらにアップすることになります。これにより農家の増産増収、新規就農者および後継者の就業機会の増、選果や運輸などでの新規雇用の創出等も期待できると考えています。

さらに、今後、平取町が人口減少を前提としたまちづくり、地域経営を進めなければならぬ条件下で、効率的で使い勝手がよい公共施設の配置や、高齢者や若者、子どもなどの各年代層が混住し、地域住民のコミュニティを維持していくための住宅群のレイアウトなどが、福祉や医療の充実、商工業の振興等の視点からも求められています。これらへの対応の一環として、バイオマス産業都市に認証されたことを契機に、各府省の支援等を最大限活用しながら域内での効率的なエネルギー活用と、バイオマス化のための技術の導入を図り、まちの機能のコンパクト化（集約）を推進していきたいと考えています。

防災係より 土砂災害警戒区域等の指定について

北海道は土砂災害防止法に基づき、平取町の土砂災害危険箇所について、順次基礎調査を行い、12月8日に本町地区の9ヶ所を土砂災害警戒区域（イエローゾーン）および土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定しました。

（指定権者 北海道 平成27年12月8日北海道告示）

区域が指定されることにより、これらの区域が平取町の地域防災計画に記載され、周辺住民の安全性の確保のため、土砂災害時の警報や非難について定めたハザードマップ等が作成されることになるほか、区域内での宅地造成等の開発行為が知事の許可の対象になるなどの規制が発生することになります。

1 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）および土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

指定箇所名	所在地	自然現象の種類
平取町本町1	沙流郡平取町本町 (本町上団地手前神社下)	急傾斜地の崩壊
平取町本町2	沙流郡平取町本町 (病院の沢 神社側)	急傾斜地の崩壊
平取町本町3	沙流郡平取町本町 (病院の沢 平和塔側)	急傾斜地の崩壊
平取町本町4	沙流郡平取町本町 (町民体育館裏)	急傾斜地の崩壊
平取町本町8	沙流郡平取町本町 (かつら団地法面)	急傾斜地の崩壊
平取町本町9	沙流郡平取町本町 (びらとり農協裏)	急傾斜地の崩壊

◎危険区域指定の説明

「土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）」は土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、地形によって決定します。

「土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）」は「土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）」のうち、建築物に損壊が生じ、建築物の中の住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域であり、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制されます。

2 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

指定箇所名	所在地	自然現象の種類
平取町本町7	沙流郡平取町本町 (養護学校寄宿舎裏)	急傾斜地の崩壊
オバウシナイ小川	沙流郡平取町本町	土石流
義経神社の沢川	沙流郡平取町本町 (病院の沢 平和塔側)	土石流





町づくり住民大会（11/29）

町自治振興会と交通安全推進委員会の共催による「町づくり住民大会・交通安全住民の集い」が中央公民館で行われました。

住民運動功労・交通安全功労表彰が行われ、その後に門別警察署員による交通安全講話、スポーツキャスターの益子直美氏による特別講演が行われました。



琴アンサンブルきみかげ草 クリスマス琴コンサート（12/6）

琴アンサンブルきみかげ草（代表 滝沢奈々美さん）によるクリスマス琴コンサートが、ふれあいセンターびらとりで行われ、美しい琴の音色を奏でていました。

※この事業は、町民税 1% まちづくり事業を活用し行われました。

ご寄付ありがとうございます

12月3日、苫小牧信用金庫（石田芳人理事長）が町長室を訪れ、「町の発展に活かしてほしい」と町へ寄付をされました。

川上町長より「町の発展のために大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉が述べられました。

あたたかいご厚意に感謝いたします。



びらとり和牛が最優秀賞（平成27年度日胆黒毛和種枝肉共励会）



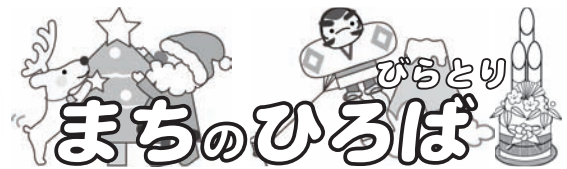
石谷 彰朗 木村 文彦 中山 真澄 加藤 正博
牧場長 牧場係 牧場係 牧場係長

11月14日、胆振和牛振興協議会と日高和牛振興協議会が主催する、平成27年度日胆黒毛和種枝肉共励会が北海道畜産公社十勝工場で開催されました。

第1回目となる今回は日胆地区から全43頭の出品があり、平取町からは賀集昭知さん（2頭）、原田健二さん（1頭）、佐藤修さん（2頭）、(有)平取町畜産公社（3頭）の計8頭を出品しました。

そのうち、(有)平取町畜産公社の牛（「十夢」去勢、枝肉重量561kg、A5等級、BMS11、種雄牛＝安雪照）が最優秀賞となりました。

また、その後行われた十勝枝肉市場でも単価2,820円と、その日の最高値を記録し、肉質の高評価が認められました。惜しくも入賞は逃しましたが、賀集さん、原田さん、佐藤さんの牛も6頭がA4以上、平均単価も約2,468円と、びらとり和牛の知名度をいっそう高めることとなりました。

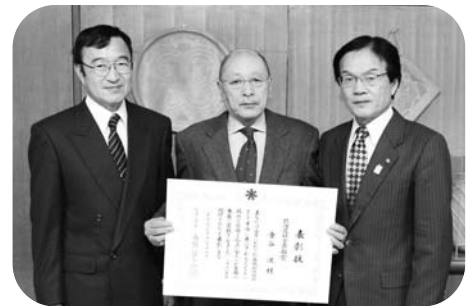


学校保健功労者表彰

平取歯科診療所の^{あわのまさと}栗野雅人所長が、(公財)北海道学校保健会から平成27年度学校保健功労者表彰を受賞しました。昭和59年から本町地区小中学校の学校歯科医を務め、長年にわたり学校定期健康診断(歯科検診)を行い、児童生徒への歯磨きブラッシング指導や、学校への相談・助言など、児童生徒の健康増進に大きく貢献されました。

北海道社会貢献賞（医療関係功労者）表彰

永年にわたり診療放射線技師として平取町国民健康保険病院での業務に専念され、技術の指導と向上に努められ医療の発展に貢献されたとして、^{かなやみつる}金谷満さん(荷菜)が北海道知事から北海道社会貢献賞(医療関係功労者・優良医療職員)の表彰を受けました。



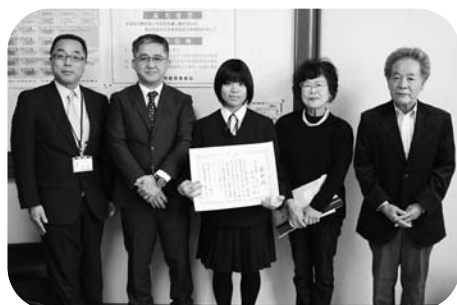
電源立地地域対策交付金事業

二風谷発電所・岩知志発電所・奥新冠発電所の影響緩和のために、電源立地地域対策交付金が交付されています。今年度は、平取町国民健康保険病院の厳しい経営を緩和するために、病院運営費へ電源立地地域対策交付金520万1千円を充当しました。今後も病院運営費への充当を検討します。

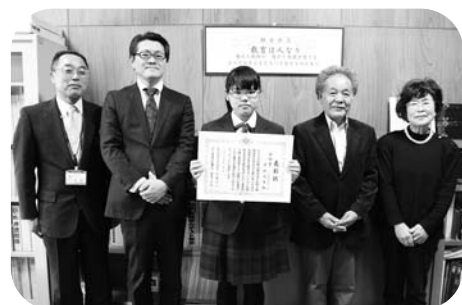
第35回全国中学生人権作文コンテストで受賞

第35回全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会日高地区大会で、^{おぎもとこゆき}荻本小雪さん(振内中3年生)、平村咲季さん(平取中2年生)が奨励賞を受賞しました。

この作文コンテストは、次代を担う中学生が人権問題に関する作文を書くことによって、人権尊重の重要性と必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的として法務省と全国人権擁護委員連合会の主催で行われています。



荻本小雪さん



平村咲季さん

教育委員会からのお知らせ

記録を伸ばせ！ ～スポーツ少年団員「体力テスト会」～



11月7日、町民体育館で教育委員会とスポーツ少年団本部の共催により「体力テスト会」を行いました。町内の各スポーツ少年団員を対象とし、今年度は7少年団から計69人が参加しました。

測定種目は、例年どおり日本体育協会が奨励する下記の5種目で、これまでの自己記録や全国平均と比較ができ、参加した少年団員は、少しでも記録を伸ばそうと真剣に取り組んでいました。

年齢ごとの種目別平均値は、全体で約3分の2が全国平均値を上回る結果となりました。

また、開会前には、「平取町スポーツ少年団本部設立40周年記念」として、8人の功労者に対して、本部長より感謝状が贈呈されました。



◇「9歳・女子」8人の平均結果

平均	立幅とび	上体起こし	腕立て伏せ	時間往復走	5分間走
平取町	159cm	22回	31回	38m	1,019m
全国	144cm	17回	26回	36m	973m

(全国平均値は平成26年3月現在)

楽しく学びました ～第36回女性の集い～

11月19日、第36回女性の集いが207人の参加により開催されました。前半は、落語家の桂ひな太郎氏を講師に迎え、落語でわかりやすく、成年後見人について公演していただきました。成年後見制度は、他人事のように思っている人が多いが、身近な事だと感じることができたようです。



桂ひな太郎氏公演の様子

その後、マイナンバー制度について、実行委員がおじいちゃん、おばあちゃんに扮して、役場総務課の担当者に質問をし、マイナンバーがなぜ必要なのか、何に使われるのか等の疑問を解決していきました。



マイナンバー制度寸劇

後半は芸能発表が行なわれ、舞踊、ダンス、劇と年々グレードアップする出し物に歓声があがり、会場は大いに盛り上がっていました。また、チャリティーバザーの売上金は、東日本大震災義援金として、参加者が持ち寄ったタオルやティッシュは、社会福祉協議会を通じて町内の各福祉施設に寄付されました。

触れることで安心できます ～心に触れるタッチケア～

11月14日に開催した子育て講座では、昨年に引き続き「タッチケア」について、札幌市の中島直子氏に実践を交えて講演をしていただきました。

触れることは赤ちゃんの時だけではなく、小学生、中学生、大人になってからでも、気持ちを素直に伝えられる大切な手段であり、さらに相手の気持ちを理解できるようになることを学びました。親子だけではなく、家族や友達、仲間とのタッチも効果があります。



タッチケア実践

実践例⇒うつぶせに寝た人に、力を入れず手のひらで、背中全体を上から下に、何度もゆっくりとマッサージします。次に、お尻の方から上に向け腕まで含め、大きなハートを描くようにマッサージします。身体が安心できると心も素直になれます。ぜひご家庭で試してみてください。

教育委員会からのお知らせ

A 問題の基礎基本の定着が課題、小学校記述問題は改善傾向

～平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果から～

今年 4 月、文部科学省は例年同様に全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生の児童生徒を対象に、国語、算数・数学、理科の 3 教科で「全国学力・学習状況調査」を実施し、8 月に調査結果が公表されました。これを受け、北海道教育委員会でも調査結果を分析・考察し、全道平均正答率、管内別平均正答率を 11 月末に公表しました。この調査結果を基にした平取町の児童生徒の平均正答率の概要は、下表のとおりです。

(全国・全道・日高管内との平均正答率の比較、小学校・中学校別)

小学校 6 年生

* A 問題：主として「知識に関する問題」 * B 問題：主として「活用に関する問題」

◇小学校	全国平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較			全道平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較			日高管内平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較		
	A 問題	B 問題	理 科	A 問題	B 問題	理 科	A 問題	B 問題	理 科
	相当高い +7以上					算 数		算 数	算 数
高い +5～+7		算 数						国 語	
やや高い +3～+5						理 科			
ほぼ同様上位 +1～+3			理 科	算 数			国 語		
ほぼ同様 -1～+1	算 数				国 語				
ほぼ同様下位 -3～-1		国 語							
やや低い -5～-3				国 語					
低い -7～-5	国 語								
相当低い -7以下									

- 算数 B・理科については全国平均を上回り、特に算数 B は顕著である。
算数：「数と計算」「図形」、理科：「物質」の分野では 10 ポイント程度上回る。
- 記述問題では正答率が向上している傾向にある。(理科は全国を 10 ポイント以上上回る)
- A 問題で基礎基本の知識の定着に課題があり、特に国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」の分野に課題がある。

中学校 3 年生

* A 問題：主として「知識に関する問題」 * B 問題：主として「活用に関する問題」

◇中学校	全国平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較			全道平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較			日高管内平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較		
	A 問題	B 問題	理 科	A 問題	B 問題	理 科	A 問題	B 問題	理 科
	相当高い +7以上								
高い +5～+7									
やや高い +3～+5									
ほぼ同様上位 +1～+3							数 学	数 学	理 科
ほぼ同様 -1～+1			理 科			理 科	国 語	国 語	
ほぼ同様下位 -3～-1		国 語 数 学		数 学	国 語 数 学				
やや低い -5～-3	国 語 数 学			国 語					
低い -7～-5									
相当低い -7以下									

- 理科については物理・化学の分野で全国平均を上回るが、生物・地学はほぼ同様。
- A 問題で基礎基本の知識の定着に課題が残る。国語の「話すこと・聞くこと」と数学の「数と式」に課題がある。
- 記述問題についても課題が残る。無解答率が全国平均を上回る傾向にある。
数学 B の証明問題などで 4 問、理科の説明問題などで 3 問において無解答率 30%以上である。

一日の生活のリズムを確立し、規則正しい毎日を！

学力調査と同じ日に学習状況調査も実施し、児童生徒質問紙の回答から平取町の児童生徒の実態を知ることが出来ます。全部で87の質問項目がありましたが全国・全道平均と比べながら顕著なものを紹介します。

- 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している…チャレンジ精神
小学校：84.6% 国 76.4%・道 73.9% 中学校：79.6% 国 68.7%・道 68.0%
- 自分には良いところがあると思う…自己肯定感
小学校：74.4% 国 76.3%・道 73.1% 中学校：79.6% 国 68.1%・道 66.4%
- 今住んでいる地域の行事に参加している…地域行事参加
小学校：82.1% 国 66.7%・道 59.0% 中学校：77.8% 国 44.2%・道 37.4%
- 学校へ行くのは楽しい…学校快適率
小学校：89.7% 国 87.0%・道 84.5% 中学校：87.0% 国 82.2%・道 78.7%
(上記4問は、A：そう思う B：どちらかというと思う の合計の割合)
特に地域行事参加については大きく全国平均を上回っています。
自分の力を信じこれからも失敗を恐れず何事にも挑戦して欲しいものです。



道徳教育研究会 (11/17 振内小学校)

- 一日（月曜日から金曜日）の平均的な学習時間1時間以上の割合
小学校：48.8% 国 62.7%・道 54.6% 中学校：44.4% 国 69.1%・道 63.9%
- 一日（月曜日から金曜日）の平均的な読書時間30分以上の割合
小学校：30.7% 国 37.7%・道 36.5% 中学校：16.7% 国 30.6%・道 33.1%
一日の学習時間・読書時間に課題が残ります。中学3年生においてはその要因となるのが次の3つのデータで明らかとなっています。



へき地複式研究会 (11/25 貫気別小学校)

- 一日のテレビ等の視聴時間3時間以上の割合
小学校：25.6% 国 36.0%・道 39.6% 中学校：40.7% 国 29.9%・道 32.3%
 - 一日のゲームの使用時間2時間以上の割合
小学校：25.6% 国 30.0%・道 37.5% 中学校：46.3% 国 35.9%・道 41.4%
 - 一日の通話・メール・インターネット等の使用時間2時間以上の割合
小学校：5.1% 国 9.8%・道 12.9% 中学校：40.7% 国 30.9%・道 35.5%
- テレビ・ゲーム・携帯（スマホ）の合計使用時間の平均は小学校6年生で3.7時間、中学3年生で5.9時間となり、家庭で過ごす時間の大半がこの3つで占められている現状にあります。ゲームなどでは時間の制限を設けるとか、ノーゲームデーの日を設定するなど早急に取り組む必要があります。また、読書時間ゼロの生徒の割合は63%となっております。新聞もほとんど読まない児童生徒は、ともに約半数いました。読書の習慣化を図るために学校では朝読書などを行い、読むことに対する抵抗感がなくなるように指導をしています。家庭でも何らかの手立てを考え、少しずつでも本に親しむ態度を育てていく必要があります。

学校ではこの結果を受けて、指導方法の工夫改善や個に応じた指導の充実に向けて取り組むとともに、家庭学習の習慣化のために、宿題などを与えています。家庭においても健やかな児童生徒の育成のため連携して取り組んでいきましょう。そのためにも一日の生活リズムを今一度見直し、規則正しい生活を送る必要があります。

平取町としての学力向上策（各学校での主な取り組み例）

- ◆ 少人数指導による個に応じた指導の充実：TT（ティームティーチング）指導や習熟度別指導の充実
- ◆ 標準学力テスト実施（全学年）：児童生徒の実態把握による指導の充実
- ◆ 放課後子ども教室や休業中の学習サポート事業の充実：学習機会の提供
- ◆ チャレンジテストの効果的な利用
- ◆ 各種検定事業参加（漢字検定・英語検定）：学習意欲の向上
- ◆ 家庭学習時間の設定 学年×10分+10分 家庭学習強化週間の設定
- ◆ 指導方法の工夫改善 ノートと板書の一体化・ふりかえりの時間の設定
- ◆ 学習規律の徹底（学習に必要な物・発表の仕方・姿勢や返事など）

オブシヌプリ

所在地: 平取町字二風谷(にぶたに) 沙流川右岸 国有林内

44

関連シート: 10、43、44、47、63

地域の山に住民の想いをみる

オキクルミが弓矢ないしは投げ槍で貫いたと伝えられる山が、にぶたに湖右岸にあります(写真1)。山の尾根が丸く欠けた特徴的な形態から、沙流川の神秘的なイメージを象徴するアイヌ伝承地として知られています。

オブシヌプリの伝承

記録に残っている伝承(表1)の共通項に、オキクルミが貫いた山という表現があります。その伝承の形成時期を探る情報は、今のところ見出すことができません。最も古い情報は明治29(1896)年の「ブイヌプリ」(図1・表2)です。その後、明治31(1898)年の大雨(地震説もあり)によって丸かった穴が崩落したと伝えられています(表3)。

後の記録に表れる「オブシヌプリ」もブイヌプリと同様に山の状態を表す名称であり、その語源からアイヌ伝承との結びつきを根拠



写真1 にぶたに湖右岸の山林にあるオブシヌプリ(南東側から撮影)。元々は丸い穴であったが災害(地震説・大雨説あり)により崩れてしまい、半円状になったと伝えられている

づけることはできません。

吉田巖による「オキクルミのチョッチャした跡という穴」という明治44(1911)年の記録は、今のところオブシヌプリとオキクルミを結びつけた最古の文献情報です。

それが矢なのか槍なのかは不明ですが、明治後半代には表1にあるような伝承がみられることになります。

オキクルミは新井白石による『蝦夷志』(享保五年:1720)を始めとした近世の地誌において、義経伝説を助長する形でたびたび登場します。特徴的な山や岩塊に対して、いろいろな観方や言われ方をする中で、オキクルミの伝承が徐々に語られるようになっていったと考えられます。

記録されている2つの伝承(表1)は、それぞれ特徴的な内容もっています。1は額平川流域を含めた広域でのストーリー展開であり、2は沙流川の伝承で度々みられる十勝方面からのトパットウミ(群盗・夜襲)を題材にしています。このことは流域住民がオブシヌプリに対して、いろいろな観方や想いをもっていたことを示しています。

沙流川流域は、北海道の中でもアイヌ伝承記録がとりわけ多い土地柄といわれています。今後、資料を掘り起こしていく中で新たなオブシヌプリ伝承が見出されることもあるかもしれません。

表1 オブシヌプリの伝承

1. 文化神オキクルミが沙流川の支流貫気別川の奥のエマニチヌプリ(焼串山)の上を居城にしていたとき、そこから額平川の支流トウレブナイ(うばゆりある沢)の山を目標にして、投槍の練習をしていると、槍がトウレブナイの山にあたらずにそれで、沙流川の川向いのオブシヌプリ(そこを破った山)という山を突き抜いて大穴をあけてしまった。その穴は地震のために上が崩れ落ちて、今はへこみにしか見えていない【二風谷 二谷一太郎伝】(更科 1971)
2. 昔、十勝の方のアイヌが沙流川に攻めてきた。その時オキクルミカムイ(アイヌに生活文化を教えた神)が、互いに血を流すことを避けるために、技比べをしようということになった。最初にオキクルミがヨモギの矢をつがえて川のむこうのあの山を射た。一本の矢で見事に岩山に穴が開いた。十勝アイヌはそれを見て度肝を抜かれて逃げ帰った。それだから、あの山の向こう側、山の後ろへ行ってみると、よもぎがいっぱい生えているのだよ、と。この穴あき山のことをオブシヌプリというのです(萱野 1975)



図1 明治二十九年製版 陸地測量部 北海道仮製五万分一図「二風谷」の一部。中央付近にオプシヌプリのアイヌ語地名表示をみることができる

オプシヌプリ観賞会

夏至の日を中心に数日間、オプシヌプリのくぼみ部分に夕日が沈む様子を見ることが出来ます(写真2)。平取町二風谷アイヌ語教室では、毎年この時期にオプシヌプリ鑑賞会を行っています。この夕日を一目見ようと、国道237号沿いのカンカン待避所(二風谷)には、町内外からたくさんの方が集まります。

オプシヌプリは地域のアイヌ伝承地というだけでなく、幻想的な姿を見せてくれる自然の造形という側面もっています。

地域住民による手づくり絵本

地元の有志が集まり、多くの人にオプシヌプリを知ってもらい、地域のウパシクマ(言い伝え)を後世に残していくための絵本が作ら

れました。

『オプシヌプリの伝説』(伝えたい物語実行委員会 2010)という版画の冊子で、平取町立図書館、博物館、アイヌ文化情報センター等で閲覧することができます。

町の子育てサークル、読み聞か



図2 地域住民による手づくり絵本。子供たちへの読み聞かせも行なわれている



写真2 オプシヌプリに沈む夕日(夏至前後:南東側から撮影)

せボランティアなどの団体がこの絵本を活用し、沙流川のオキクルミ伝承を紹介しています。

表2 オプシヌプリの語源及び別称

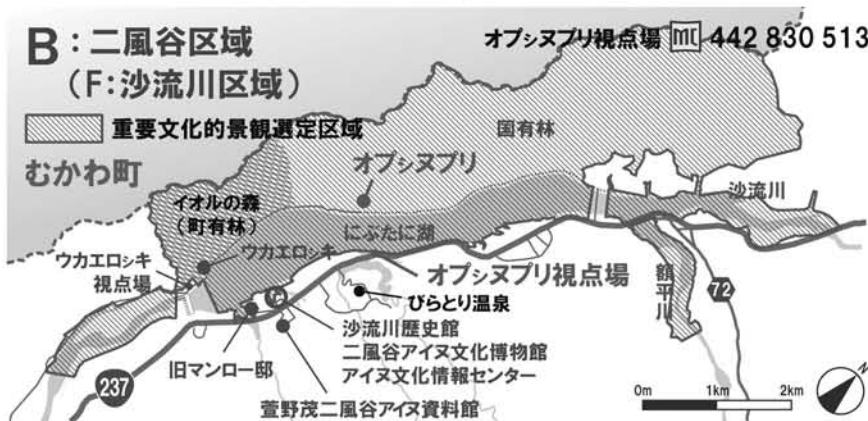
オプシヌプリ	opus nupuri	穴があく・山	(更科 1971、萱野 1975)
プイヌプリ	puy nupuri	穴・山	(明治二十九年製版北海道仮製五万分一図)
オキクルミのチョツチャした跡という穴	cotca	刺す、射る、(弾丸・矢を)当てる	(吉田 1957)

表3 オプシヌプリの崩落

明治31年の大水害までは、今のくぼみの部分の上がつながっていて、本当に穴であったそうです。それが、大水害をもたらした大雨のときに、上のつながりが落ちてしまったと子どもの頃に聞きました。

昭和20年代に写した写真と、現在の姿を比べてみると、今の穴は、当時よりかなり上の方が広がっているように思います。あの付近の岩石は砂岩なので、ひょっとするとその昔は本当に上がつながっていたのかも知れないし、また、そのくぼみはこれからも広がりが続けることでしょう

(萱野 1984)



「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」
2007(平成19)年7月26日、重要文化的景観(国文化財)に選定



目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

平取町子ども 発達支援センター 『ひよこ学級』

子ども発達支援センター とは、どんなところ？

＊児童発達支援事業
＊放課後等デイサービスの
2つの事業を行っています。

児童発達支援事業とは？

未就学児（0歳から就学前）のお子さんを対象としています。発達で気になるところがあるお子さんや保育園に入る前に小集団での活動を経験していく場。また、子育て上の悩みについて相談も受けています。

放課後等デイサービスとは？

小学生から18歳までを対象としています。発達で気になるところがあるお子さんや集団生活への対応、日常生活における基本的な動作の習得を実施しています。また、子育て上の悩みについても相談を受けています。

職員構成

＊管理者 1人

＊児童発達支援管理責任者 1人

＊保育士 2人

専門支援

＊作業療法士

＊臨床発達心理士

＊言語聴覚士

しずまない心の杜から月に1～2回程度支援に来ています

巡回療育相談

＊室蘭児童相談所の巡回児童相談

＊道立施設専門支援事業

（北海道立子ども医療・総合療育センターから医師などが年2回来ています）

センターのプログラム

＊午前（幼児）
グループ療育になります。身体遊びや設定遊び（週の遊びをみんなで楽しみます）

＊午後（幼児・学齢）
個別・グループ療育を行います。遊びを通して療育を行います。



赤ちゃんの発達について

◆体づくり～ゆさぶり遊び～
ゆさぶり遊びは、平衡感覚を育み、しっかりと体をつくります。また、リズムカルに動かされることで心地よさを感じると、脳からドーパミンが出ます。これは前頭葉の発達につながります。

①背中がしっかりとってきたら（6カ月頃）、横抱きにして、子どもと目を合わせ、歌いながら左右に軽く揺らします。

②座位が安定してきた（10カ月頃）頃からタオルケットを使ったゆらし遊び（タオルケットの上に寝転がり、大人が両端を持って横にやさしく揺らす）も楽しめます。

※ゆさぶり遊びでは子ども自身が心地よく思っているかが重要です。遊びながらも子どもが楽しそうな表情を出しているのか、笑い声を出しているかを確認しましょう。



◆発語を促すかわり

6カ月頃から見られる手さし、指さしは、話し言葉につながる重要な特徴です。また、この頃から、なん語の発音も盛んで、無意味な発音から意味をもつ音声になっていきます。ここで大切なのが、子どもの手さしや指さし、音声に言葉で対応していくことです。

例えば「あー」「うー」といった無意味な発声の段階から、「はい」「なあに」などと応じます。このやりとりの繰り返しによって、子どもは「この人は自分の要求に応じてくれる」とわかり、言葉や発音などで自己表現をする意欲につながります。

【お問い合わせ先】

子ども発達支援センター
（ふれあいセンターびらとり内）
☎2・3400

電話相談

子育て上の相談を
お受けします。



①～⑤ 9時00分～17時00分
来所相談は電話で日時をご確認ください。お気軽にごぞ。

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00 土・日曜日 9:30～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 〆 risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『大川契り』／西條奈加
 『人魚の眠る家』／東野圭吾
 『墓標なき街』／逢坂剛
 『世にも奇妙な君物語』／朝井リョウ
 『ザ・ブラックカンパニー』／江上剛
 『謎の毒親 相談小説』
 ／姫野カオルコ
 『早春賦』／山口恵以子
 『決戦！本能寺』／伊東潤ほか
 『墓標なき街』／逢坂剛
 『砂浜に坐り込んだ船』／池澤夏樹
 『ユートピア』／湊かなえ
 『ラオスにいったい何があるか
 いうんですか？』／村上春樹
 『図書室で暮らしたい』／辻村深月



【家庭・生活・趣味】

『毎日からだを調える中華スープ』
 ／パン・ウェイ
 『毎日おいしい豆レシピ』／堤人美
 『子どもの着ぐるみ服』／野木陽子
 『スウィート・キャンドル
 Lesson Book』／堀崎カオリ



【社会・その他】

『お見舞い・お悔み・励まし文例集』
 ／現代レター研究会
 『老後貧困から身を守る』
 ／細沢祐樹
 『あなたの“不安”をスッキリ解消！
 クルマの運転術』／菰田潔
 『世界でもっとも貧しい大統領
 ホセ・ムヒカ言葉』／ホセ・ムヒカ



❄️* 冬休み映画上映会 *❄️

上映作品

『ミニオンズ』(2015年公開・91分)

12月25日(金) 10:00 役場貫気別支所
 13:30 振内青少年会館

12月26日(土) ふれあいセンターびらとり
 ① 10:00 ② 13:00 ③ 15:00

※入場無料です

年末年始の休館のお知らせ

図書館は下記の期間中、休館となります。

期間: 12月30日(水)～1月5日(火)

30日(水)は年末図書整理日のため休館とさせていただきます。

休館中の図書の返却は、ふれあいセンターびらとり正面玄関横の返却ポストに入れて下さい。CD・DVDは破損の恐れがありますので、後日開館時間中に図書館カウンターにお持ち下さい。



年始は1月6日(水) 9:30から開館いたします。



図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【1月】

14日(木) 【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負・遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

15日(金) 【振内地区】

10:00～11:00 山の駅ほろしり館
 11:15～11:45 岩知志ふれあい館
 13:30～14:00 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

12月の休館日

7・14・21・23・28・30・31日

1月の休館日

1～5・11・12・18・25日



今月のワンショット



ボランティアの集い (12/10 ふれあいセンターびらとり)

関係機関電話番号
市外局番 (01457)

- 平取町役場 (本庁)**
 総務課(代表) ☎2-2221
 まちづくり課 ☎2-2222
 産業課 ☎2-2223
 税務課 ☎2-2224
 出納室 ☎2-2225
 建設水道課 ☎2-2226
 議会事務局 ☎2-2227
 アイヌ施策推進課 ☎2-2341
 農業委員会・土地改良区 ☎2-2695

- 役場振内支所 ☎3-3211
 役場貫気別支所 ☎5-5204

- ふれあいセンターびらとり ☎4-6111
 保健福祉課 ☎4-6112
 町民課 ☎4-6113
 児童館 ☎2-3026
 子ども発達支援センター ☎2-3400
 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎2-3700
 社会福祉協議会 ☎4-2267
 図書館 ☎4-6666

- 平取町教育委員会**
 中央公民館 ☎2-2619
 町民体育館 ☎2-2749
 二風谷アイヌ文化博物館 ☎2-2892
 沙流川歴史館 ☎2-4085

- その他公設機関**
 平取町国民健康保険病院 ☎2-2201
 平取町外2町衛生施設組合 ☎2-2024
 日高西部消防組合平取支署 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

句 俳 実 櫛

正座して足のしびれや初句会
 元旦を寿く心静肅に
 ともかくも生きて繋がる去年今年
 娘の作るおせちの料理姑の味
 ことなきを願う心の初詣
 初日の出松の影濃き庭の石
 テロもなく平和を願う初詣
 添え書きに声を聞きたし年賀状
 孫二人正月の唄晴れ着きて
 正月を数えわくわく少年期
 白髪皺笑顔卒寿の初鏡

柴田 紫梢
 内海 綾子
 渡辺 正子
 吉野千佳女
 中道 サト
 石森 礼子
 山崎 喜峰
 千葉 俊子
 遠藤 紫光
 長野 新一
 井内 青風

まちの人口と世帯数

人口	5,325人	(△ 80)
男	2,600人	(△ 34)
女	2,725人	(△ 46)
世帯数	2,570世帯	(△ 63)

()内は前月比 11月末現在

交通事故発生状況

発生件数	3件	(△ 2)
死者数	0人	(△ 1)
傷者数	3人	(△ 2)

()内は前年比 11月末現在

死亡事故ゼロ日数 671日

